

## 【 投薬 】

### 9 1 前立腺肥大症に対する複数の $\alpha_1$ 遮断薬の併用について

《令和6年3月29日》

#### ○ 取扱い

前立腺肥大症に対する複数の $\alpha_1$ 遮断薬（タムスロシン・ナフトピジル・シロドシン等）の併用投与は、原則として認められない。

#### ○ 取扱いを作成した根拠等

前立腺肥大症治療薬である $\alpha_1$ 遮断薬（ $\alpha_1$ アドレナリン受容体遮断薬）は、排尿障害改善薬であり、代表的なものとしてタムスロシン、ナフトピジル、シロドシンがある。

その作用機序は、 $\alpha_1$ 受容体遮断作用に基づき、下部尿路組織平滑筋の緊張を緩和し、尿道内圧の上昇を抑制することにより、前立腺肥大症に伴う排尿障害を改善するものである。

また、 $\alpha_1$ 遮断薬の主な副作用として、起立性低血圧（めまい）や射精障害があるが、同様の薬効薬理を有する複数の薬剤を投与した場合、副作用の発生頻度が増加する可能性がある。

以上のことから、前立腺肥大症に対する複数の $\alpha_1$ 遮断薬（タムスロシン・ナフトピジル・シロドシン等）の併用投与は、原則として認められないと判断した。